

GSJ 地質ニュース

GSJ CHISHITSU NEWS

— 地球をよく知り、地球と共生する —

2016

9

Vol. 5 No.9



9月号

267-273

ASEAN における Harmonized 地質図作成プロジェクト

大久保泰邦・高橋 浩・大野哲二・Wongsomsak Sompob・
Sieng Sotham・Surinkum Adichat・藤田 勝・脇田浩二

274-278

GSJ データベースへのアクセスの集計・解析

吉川敏之・島田幸子・谷島清一

279-286

東西日本の地質学的境界 【第三話】銚子の帰属

高橋雅紀

287-289

タイ国立地質博物館 地中熱ヒートポンプシステム設置工事

内田洋平

290-292

平成 27 年度廣川研究助成事業報告（1） 若い火山岩試料に対する K-Ar 年代法の高度化に向けた 国際共同研究 ～打合せと試験的試料分取～

山崎誠子

293-295

平成 27 年度廣川研究助成事業報告（2） 放射性廃棄物地層処分技術・研究の動向調査と 国際共同研究に向けた情報収集

朝比奈大輔

296-298

平成 27 年度廣川研究助成事業報告（3） 機能性粘土鉱物の成因調査と利用に関する国際共同 研究に向けた事前協議

森本和也

Cover Page



Mirage of Nemuro Bay taken from Arahama Cape, Notsuke Peninsula, eastern Hokkaido.

(Photograph and caption by Futoshi NANAYAMA)

野付半島荒浜岬から撮影された根室湾の蜃気楼

蜃気楼とは、大気中での光の屈折により、地上や海上の物体が浮き上がって見えたり、逆さまに見えたりする自然現象である。その語源は中国の古書にあり、蜃が吐く気によって、樓閣を出現させると考えられたことに由来するとされる。2015年10月21日午後、野付半島での地形調査中に、根室湾の水平線の少し上に、幻想的な蜃気楼が現れた。この海域では、天気の良い冬場や海水温と気温との差が大きい時にしばしば現れるという。またこの付近では蜃気楼の一種として、通常は丸く見える太陽が四角く見える現象も地元ではよく知られている。

(写真・文：七山 太 / 産総研 地質調査総合センター 地質情報研究部門)